

令和7年度使用

中学校用教科用図書研究資料

美 術

北部採択地区協議会

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点Ⅰ〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂	<p>(1) 美術科の目標を達成するために、学習の参考となるページや関連付けて学習できるページを示すとともに、二次元コードによる映像資料等を設定し、主体的に学習に取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 造形的な創造活動を目指すために、生徒作品や制作過程の解説や造形的な視点を広げる鑑賞を取り入れ、生徒の発想や構想につなげることを意識した構成になっている。</p> <p>(3) 感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を育てるために、「学びの資料」において、作品鑑賞や美術館での鑑賞の方法、展覧会の企画や展示の方法を学ぶことができるとともに、美術史から作品を読み解くなど学年の段階に応じて学んだ内容が深められるように構成されている。</p>
38 光 村	<p>(1) 美術科の目標を達成するために、生徒が表現の意図と工夫を考えられるよう、掲載作品の制作過程が順を追って示されており、美術科での学習を通して発想や構想をする力が育まれるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 造形的な創造活動を目指すために、学びを支える資料の解説ページを設け、生徒が造形的な視点について理解し、表現方法を創意工夫することができるような構成になっている。</p> <p>(3) 感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を育てるために、見開きの特設ページや和紙の質感を取り入れたページを設定することによって、生活や社会の中の美術や美術文化のよさと美しさを視覚的にも触覚的にも体感できるように構成されている。</p>
116 日 文	<p>(1) 美術科の目標を達成するために、表紙や巻頭の見開きページの作品から題材につなげていくことで、学びのつながりを意識させるとともに、各学年の発達の特性に即した題材の構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 造形的な創造活動を目指すために、学習を支える資料の解説ページを設け、吹き出し等を用いて、表現に必要な発想や構想の手立てが具体的に配列された構成になっている。</p> <p>(3) 感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を育てるために、美術作家以外の職種の方（シンガーソングライターやタレント等）の「学びの言葉」を掲載し、社会の中で美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力が育まれるように構成されている。</p>

2 内容や指導の充実

[観点2] 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂	<p>(1) 鑑賞と表現活動の相互が効果的に活用できるよう、題材に応じて、キャラクターを生かし、具体的な学習のポイント、気付きや思い付きのヒントが示されているなど、「主体的・対話的で深い学び」を展開するための工夫が見られる。</p> <p>(2) 各題材の学習で、必要な知識・技能が部分的に図版や「美術用語」でわかりやすく提示されている。また、各巻末の「学びの資料」に横断的に活用できる知識・技能が系統的に整理して示され、生きて働く「知識及び技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 思考をより造形的に捉えるため、掲載作品とあわせて、「作者のことば」やアイデアスケッチなどが掲載されている。各巻末の「学びの資料」には発想・構想及び鑑賞の参考となる内容が提示されており、「思考力、判断力、表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 生徒が主体的に学習に取り組むために、二次元コードを読み込むことで授業の導入から発想の広げ方、ふり返りまで活動を支援できるようになっている。各巻頭には美術を学ぶ意味などについて生徒に考えさせ、巻末は各学年及び中学校美術科の学習をふり返ることができる構成になっており、「学びに向かう力、人間性等」を育成できるような工夫が見られる。</p>

<p>38 光 村</p>	<p>(1) 鑑賞と表現活動の相互が効果的に活用できるよう、生徒の思考を促す問いかけが「POINT」として示されるとともに、制作過程が見える「みんなの工夫」が掲載されており、「主体的・対話的で深い学び」を展開するための工夫が見られる。</p> <p>(2) 各題材の学習で、学ぶ知識・技能の内容を別冊（1年資料）にまとめ、生徒が必要に応じて参照できるように工夫されている。さらに、生徒の活動を支援するために、技法や制作過程の動画を該当するページに二次元コードで示し、生きて働く「知識及び技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 思考をより造形的に捉えるため、多くの生徒作品や制作過程を掲載しており、生徒が自分事として意識できる配置がなされている。また、「作者の言葉」やアイデアスケッチなどから生徒の価値観など、「思考力、判断力、表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 生徒が主体的に学習に取り組むために、表現と鑑賞の活動が見出して示され、学びの流れを明確にしている。また、生徒に親しみやすい作品が選定されていたり、鑑賞に対する問いかけが設定されていたりするなど、生徒が意欲をもって主体的に学習に取り組みながら、「学びに向かう力、人間性等」を育成できるような工夫が見られる。</p>
<p>116 日 文</p>	<p>(1) 鑑賞と表現活動の相互が効果的に活用できるよう、実際の授業の画像が用いられ、対話を通して思考力を働かせ、学びを深めることができるような工夫など、「主体的・対話的で深い学び」を展開するための工夫が見られる。</p> <p>(2) 各題材の学習で、必要な知識・技能の基礎を支え、生徒が自分の思いを基に活動を充実させることができるように、材料や用具の取り扱いについて各巻末にまとめられている。また、題材導入時に二次元コードを配置しており、生きて働く「知識及び技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 思考をより造形的に捉えるため、完成された作品や写真、アイデアスケッチなどを用い、発想・構想が、鑑賞と表現の双方向から取り組める工夫がなされている。また、作者の言葉を掲載し、より発想・構想を広げ深め、「思考力、判断力、表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 生徒が主体的に学習に取り組むために、各巻で題材のページの見方や使い方を説明している。また、学習の内容ごとに目標やねらいを分かりやすく示しており、さらに美術を通して、これからの生活や生き方に繋がるような言葉や話が紹介されているなど、「学びに向かう力、人間性等」を育成できるような工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂	<p>(1) 表紙は、立体・絵画の代表作品が掲載され、生徒が触覚から関心を高められるような特殊加工を施し、教科書への興味・関心をもたせる工夫がされている。巻頭には、今までの学習が、今後の学びとどうつながるか振り返り、生徒の学習の目的や意義を確認するための問いや解説が、思考に応じた吹き出しによって表現され、生徒の主体性を高める工夫がされている。補助資料としては、巻末に「学びの資料」を設け、表現や鑑賞の参考となる資料に加え、「著作権を知ろう」や「持続可能な未来へ」についてスポットを当てて集約されるなど3年間を通し、2分冊構成の教科書で学びの支援が図られている。</p> <p>(2) 各題材ページでは、題材のねらいや内容が直接的で伝わりやすい表現になっており、それぞれの活動でどのような資質や能力を身につけられるかが、「知識・技能」「発想・構想」「鑑賞」の小見出しで示されている。また、生徒の活動する映像写真や、生徒作品の写真などが大きく掲載されることで、作品への興味・関心を高め、発想・構想、表現方法への手がかりとなるなど、学習効果や使用上の利便性を高める工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 表紙は、西洋・日本の代表作品が掲載され、裏面のバーコード表現に関連したイラストが描かれるなど教科書への興味・関心をもたせる工夫がされている。巻頭には、2巻ともに共通して「うつくしい！」という「詩」と共に、美術と身近な生活や社会とのつながりを気づかせ、さらに、教科書を活用する手立てとして、各題材ページの見方についての解説を示し、生徒の主体性を高める工夫がされている。補助資料としては、別冊及び巻末にて、描く、つくるにおける材料・用具の使い方や表現方法、写真、映像、発想・構想、形・色・光、色について集約されており、3年間を通し、2分冊構成の教科書で学びの支援が図られている。</p> <p>(2) 各題材ページでは、導入段階で表現につながる鑑賞作品を掲載し、言葉によって対話が生まれるような問いが示され、表現段階で作者の思いが伝わる吹き出しや制作過程が、画像や2次元コードにより示されている。また、題材の随所に他教科とのつながりが理解できるコラムが設けられ、最後に題材のまとめとして、関連した作品の鑑賞ができる構成になっており、学習効果や使用上の利便性を高める工夫が見られる。</p>

116 日 文

- (1) 表紙から裏表紙にわたって、西洋・日本・現代美術の代表作品が掲載されており、オリエンテーションの鑑賞教材としても活用できるなど、教科書への興味・関心をもたせる工夫がされている。また、3年間の発達の段階に合わせて系統立てられた学年ごとの題材が設定され、生徒の主体性を高める工夫がされている。補助資料としては、巻末に「学びを支える資料」を設け各学年のねらいに関連した知識及び技能の習得に加え、「多様性と共同制作」「社会と関わる美術」についてスポットを当てて集約されるなど、3年間を通して、3分冊構成の教科書で学びの支援が図られている。
- (2) 各題材ページでは、表現と鑑賞の一体化を意識した構成になっており、導入段階で活動や目的をイメージさせるような題材名や各題材の導入につながる2次元コード、鑑賞活動を深める問いかけが示されている。また、制作段階で表現のヒントや造形的な視点による問いかけが示されるなど、授業の流れを捉えやすく、生徒に考えさせる工夫で多様な展開も期待でき、学習効果や使用上の利便性を高める工夫が見られる。

4 地域課題への対応

〔観点4〕 これまでの学びや経験を生かすとともに、自分の住んでいる地域と関連付けて考えられるような工夫が見られたり、本地域の実態に配慮した工夫が見られたりしているか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂	<p>(1) 地域の特色や生徒の実態を考慮すると、見開きで大きく作品を掲載したり、原寸大の作品細部を掲載したりするなど、生徒の創作意欲が沸き立つような工夫が見られる。また、「美術館へ行こう」では、美術館の役割について学び、施設の楽しみ方を学習するなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) これまでの学びや経験を生かすことについては、「学びの資料」では、展覧会の計画や、地域との交流を紹介するなど、知識・技能の活用のための工夫がされている。</p> <p>(3) 自分の住んでいる地域と関連付けて考えられるようにするために、デザイン工芸の分野では、国内外の写真を通して伝統行事に生きる造形や美術文化に触れ、その特色について考えさせる工夫がされている。</p>
38 光 村	<p>(1) 地域の特色や生徒の実態を考慮すると、見開き部分の屏風の見せ方や版画作品部分の紙質を工夫するなど、生徒の創作意欲につながるような工夫が見られる。また、「学習を支える資料」では、技法の紹介や道具の使い方、美術館での作品鑑賞の仕方を紹介するなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) これまでの学びや経験を生かすことについては、「学習を支える資料」を設け、制作の様子を写真で段階的に示すなど、知識・技能を習得させるための工夫がされている。</p> <p>(3) 自分の住んでいる地域と関連付けて考えられるようにするために、「地域の魅力を表すパッケージ」では、パッケージデザインを通して自分の住む地域の魅力を伝える方法を考えさせる工夫がされている。</p>
116 日 文	<p>(1) 地域の特色や生徒の実態を考慮すると、見開きを使って大きく作品を見せ、折り曲げて立たせるなどの操作が設定されており、生徒の創作意欲につながるような工夫が見られる。また、「美術館へ行こう」では、美術館の様々な側面に触れるなどの生徒の興味を引く工夫が見られる。</p> <p>(2) これまでの学びや経験を生かすことについては、「学習を支える資料」として、「技法」「鑑賞」「色彩」にまとめるなど、知識・技能を引き出しやすい工夫がされている。</p> <p>(3) 自分の住んでいる地域と関連付けて考えられるようにするために、「祭りを彩る造形」では、故郷復興プロジェクトを掲載するなど、社会の中の美術の働きについてより身近に感じさせる工夫がされている。</p>